



ネイブリッジ セキュリティ



なぜセキュリティが大事か

- 管理組合ポータルは 住民の個人情報・会計情報・議案書を扱うため漏洩すると大きな問題になる
- そのため「安全に保管・閲覧・共有」できる仕組みが必須
- ネイブリッジは 高度な暗号化と権限管理で守っている



アクセス制御の仕組み

- 鍵付きページ (WordPress標準機能)
 - 資料アップロード・閲覧ページは「パスワード」を知る理事や担当者のみ入室可能
- ベーシック認証 (Basic Auth)
 - IDとパスワードを入力してページにアクセスする仕組み
 - WordPressのアカウントを発行せず、シンプルかつ安全に管理可能



ネイブリッジでの利用場面

資料アップロードフォームやお問い合わせフォームなどに導入
「私はロボットではありません」とチェックを入れるあの仕組み
最近のバージョン(v3など)は、利用者がチェックを入れなくても裏で判定してくれる



サーバーとは？

サーバーは「ポータルサイトのデータを保管し、利用者に提供するコンピュータ」

マンションでいうと「住民が書類を取りに行く倉庫」のような役割

安全で安定したサーバーを使うことが重要

- 👉 サイトが止まらない
- 👉 データが消えない
- 👉 情報が外部に漏れない



ネイブリッジのサーバー環境

業務用サーバーを利用

- 法人・ビジネス利用を前提にした安定した環境
- 大量アクセスや長期運用に耐えられる設計

国内の大手企業「さくらインターネット株式会社」が提供

- 日本の個人情報保護法に準拠
- 海外の不明なサーバーにデータが保管される心配がない



安全性のポイント

物理的に守られた環境

→ データセンターは24時間365日監視・入退室制限あり

冗長化(バックアップ体制)

→ サーバーや電源トラブルも、別の設備で稼働を継続できる

国内サポート

→ トラブル時も日本語で迅速に対応可能



APPENDIX



セキュリティ

reCAPTCHA

- reCAPTCHAは「ロボットの攻撃をブロックする番人」
- 不正アクセスやスパム投稿を防ぎ、人間だけが正しくフォームを使える仕組み
- ネイブリッジでは導入済みで、利用者が安心して操作できるフォーム環境を提供

SSL

- SSLは 通信の暗号化＋サイトの信頼性保証 の仕組み
- ネイブリッジは **JPRSの有料SSL証明書(ドメイン認証型)**を導入
- 国内認証局による信頼を確保し、住民や理事が安心して利用できる環境を保証

サーバー環境

- ネイブリッジは 国内大手「さくらインターネット」の業務用サーバーを利用
- 安全性・安定性・法的信頼性の3つを備え、長期的に安心して利用できる
- 「止まらない・消えない・漏れない」サーバー基盤で運用



ネイブリッジで導入しているSSL

JPRSのドメイン認証型SSL(DV証明書・1年更新・年間約1,000円)

ドメイン(neighbriidge.jp など)の所有者を証明し通信を暗号化。

「有料のSSL」を導入しているため、証明書が公式に発行され、ブラウザでも信頼された接続として表示される。

無料のSSL(Let's Encrypt など)もあるが、以下の違いがある：

- 有料SSLは国内の認証局(JPRS)が発行 → 信頼性が高い
- 有料SSLはサポート体制や更新管理がしっかりしている
- 証明書の有効期限や管理が安定している



SSL証明書とは？

「このサイトは確かにこのドメインの持ち主が運営している」と証明する電子的な身分証明書。

ブラウザは証明書を確認し、問題なければ「🔒 鍵マーク」を表示して安全な接続と認識。

ネイブリッジは JPRSの正式な証明書を取得済み。

これにより、利用者(住民・理事)が「安心してログイン・利用できる」状態を保証している。



不正アクセス防止

🤖 reCAPTCHAとは？

Googleが提供しているセキュリティ機能。

「このアクセスは人間か、ロボット(自動プログラム)か」を判定する仕組み。

🛡️ 何のためにあるのか

インターネットには「ボット」と呼ばれる自動プログラムが存在する。

- 例：
- ・フォームに大量のスパムを送信する
 - ・不正にログインを試みる
 - ・掲示板に迷惑広告を投稿する

自動攻撃を防ぎ、人間だけが正しくフォームやページを利用できるようにする



まとめ

reCAPTCHAは「ロボットの攻撃をブロックする番人」

ネイブリッジではこれを導入することで、

- 👉 フォームの安全性を高め、
- 👉 不正アクセスやスパム投稿を防ぎ、
- 👉 利用者が安心して操作できる仕組みを整えている。



利用者にとっての安心

「業務用」なので止まりにくい

→ 理事会資料や会計データが必要なときに「見られない」というトラブルを防ぐ。

「国内」なので法的にも安心

→ 日本の法律に基づいて運用されているため、海外サーバーのような規制リスクがない。

「大手・実績あり」なので信頼できる

→ 公共性の高い大学や団体も使っているため、安心して利用できる。